

令和元年八月十五日 信者心の道勉強会

神 示

人間は皆 神の手の中

世に奉仕して 「生きる」 真の喜び味わうために生まれる

なれど 運命の力が生かせず 神の存在も分からず

知識を絶対と思い込み 生きている

精神世界に生きる心を忘れ 唯物世界で社会の発展を求めてきた

社会は 混迷をますます深め 人生の真実「真理」が見えないでいる

信者に申す

使者を通し 神が示す「真理」を学び 悟りを深める努力をする

信者の心は安定し 真実を正しく見詰める力が身に付く

運命が導く人生を歩む人間が増えるほど 社会の姿は安定し 調和する

家族で「教え」を学び 和のある家庭に生きるなら

人間は皆 運命を重ね 補い合って

喜び多く 楽しい時を生きられる

「希望の光」を通して 生きがいある人生を味わう人は

「教え」のある家庭の価値を知る

「心の道」をつないで 良き因を我が家に残して 人生は完成する